



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ガマル・ムバーラク NDP 幹事長代理兼政策委員長の NDP 大統領選挙候補者指名に向けた動き (6月18日付現地紙)

最近の現地報道に基づき、ムバーラク大統領の後継者問題に関連する最近の与党国民民主党 (NDP) 及び人民議会の動向の取りまとめ概要は以下の通り。

1. ガマル・ムバーラク NDP 幹事長代理兼政策委員長の NDP 大統領選挙候補者指名に向けた動き (18日付シュルーク紙)

(1) NDP 政治局は、2011年に実施予定の大統領選挙への同党候補者指名に関する協議を行うための会議を、今後数週間以内に開催すべく準備中である。政治局は、各県の党組織に同氏の名前を提示し、党規約に則り党内予備選挙の準備を行っている。

(2) NDP 筋によれば、7月中に各県の党支部幹部の選挙を実施した後、新旧党员のための拡大フォーラムを行い、また党内予備選挙の開始前に議員総会を開催することが見込まれている。

(3) 本件に関する政治局の会合には、ナズィーフ首相、スルール人民会議長、シェリーフ・シューラー評議会議長 (NDP 幹事長)、アズミ大統領府長官 (NDP 幹事長代理 (組織、人事、財政、運営担当))、シハーブ法律問題・議会担当相 (NDP 議会担当幹事長代理)、ガマル・ムバーラク NDP 政策担当幹事長代理兼政策委員長等の全政治局メンバーが出席予定である。

(4) 上記一連の動きは、ムバーラク大統領の再立候補が見込まれない状況下、エジプトの将来につき様々な国家機関及び重要な政治勢力が協議と連絡を重ねてきた中で生じている。国家の指導層は、約 300 万人に及び NDP 党员による予備選挙でガマル・ムバーラク氏が選出された場合、同氏の大統領選立候補を力強く支持する旨表明している。

(注：シュルーク紙は、本年2月にアハラム紙の著名な政治コラムライターであったサラマ・アフマド・サラマ氏を編集長として創刊された独立系紙。3月のガマル・ムバーラク NDP 幹事長代理兼政策委員長の訪米や、5月のムバーラク大統領の訪米予定 (孫のムハンマド・アラー・ムバーラク氏逝去により延期) を最初にスクープする等、信頼性については一定の評価がある)。

2. 人民議会における女性への議席割り当て

(1) 6月1日、NDP はガマル・ムバーラク幹事長代理兼政策委員長が中心となり、政策委

員会で検討した結果、最低 56 議席を女性に割り当てる法案を人民議会の今会期中に提出することを決定した。

(2) その後、8 日には閣議が 64 議席の女性への割り当てを承認して法案は議会に送付された。10 日にはシューラー評議会が全会一致で承認し、15 日には人員議会も承認した。

(3) 女性への議席配分は、来る人民議会選挙（2010 年）及び大統領選挙（2011 年）に向け、NDP がガマール・ムバーラク NDP 幹事長代理兼政策委員長を大統領選候補に擁立する上での支持基盤固めの一環であるとの見方もある。

また、ワフド党紙は、政府及び与党は、大統領選挙（2011 年）より可能な限り前に同胞団系議席を排除するため、議会を解散し、選挙の前倒し実施に踏み切る可能性があるとのアナリストの見方を紹介している。

(4) 本件に対し、ムスリム同胞団及びワフド党は、議席を女性にのみ割り当てることは、両性の権利の平等を規定する憲法（第 40 条等）に反し違憲であると主張している。

(5) なお、一部報道によれば、女性の議席割り当ての動きに呼応して、コプト教徒の一部にコプト教徒にも一定の議席が割り当てられるべきとの意見が出始めている。